

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。

県南保健所生活衛生部医療薬事課

FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen\_kennan@pref.fukushima.lg.jp

## 感染性胃腸炎は冬季に流行します！！

感染性胃腸炎の原因はいろいろありますが、特にノロウイルスによる感染性胃腸炎は冬季に流行します。  
 みんなで手洗い、標準予防策を徹底しましょう。特に、調理従事者は注意しましょう。  
 また、福祉施設等において、集団感染が発生しておりますので十分に注意しましょう。

<< ノロウイルスによる感染性胃腸炎について >>

- ◆感染経路
  - 1 食品からの感染
    - ・感染した人が調理などをして汚染された食品
    - ・ウイルスを蓄積した加熱不十分な二枚貝など
  - 2 人からの感染
    - ・患者のふん便やおう吐物からの二次感染
    - ・患者が触れたドアノブ、手すり、便座からの感染
    - ・おう吐物などが乾燥し、浮遊することによる感染
- ◆潜伏期間 感染から発症まで24～48時間
- ◆主な症状 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱（感染しても症状のない場合や軽い風邪のような症状のこともある）

<< 感染を拡げないために、おう吐物の処理に注意しましょう。 >>

ノロウイルスは乾燥すると空中を漂い、口に入って感染することがありますので、速やかに処理しましょう。

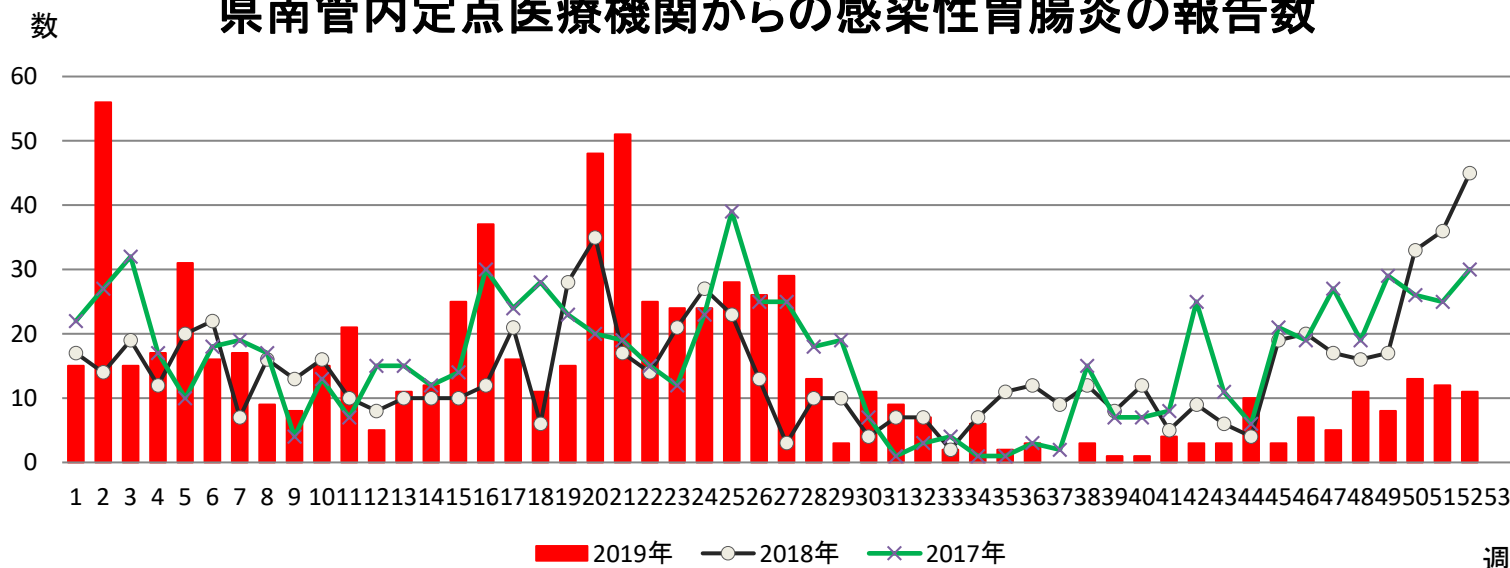
- 1 使い捨てのマスクやエプロン、手袋などを着用する。
- 2 おう吐物にペーパータオル等を被せ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬を静かにかけ、外側から内側に拭き取る。
- 3 拭き取ったおう吐物とはずした外側の手袋をビニール袋に入れ、十分に浸る量の0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液を入れて密閉する。
- 4 0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬に浸したペーパータオルで、おう吐物を拭き取った場所を覆う。
- 5 0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒薬に浸したペーパータオルで半径2mの範囲を拭き取り、10分ほどしたら水拭きする。
- 6 使用したの手袋、エプロン、マスクなどをビニール袋に入れ、密閉して廃棄する。
- 7 処理が終わったら、ていねいに石けんで手洗いをする。(アルコール類の消毒薬はあまり効果がありません。)

※必要物品

- ・使い捨て手袋 2組
- ・使い捨てエプロン
- ・サージカルマスク
- ・0.1%次亜塩素酸ナトリウム 2リットル  
 (0.1%は水500mlに次亜塩素酸ナトリウム10ml(5%原液))
- ・バケツ
- ・ペーパータオル
- ・ゴミ袋
- ・手順書



### 県南管内定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数



1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

注意: 風しんの感染を拡大させる可能性があります

風しんから、あなた自身と周りの人をまもるために風しんに対す抵抗力を確認・獲得しましょう。1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の方は、風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料となります。

問い合わせ先: お住まいの市町村